

第 1 学年生活科学学習指導案

1. 単元名 「すごいぞミッケ！ ぼく・わたしのかぞく」

こんな子どもたちに

- 自分と家族のかかわりに関心をもち、家族のよさに気付き、自分でできそうなことを進んで行うことができる。
(関心・意欲・態度)
- 家族のことや自分でできることを考え、自分が実践したことを表現することができる。
(思考・表現)
- 家族とのかかわりを通して、家族の温かさや大切さ、自分の役割について気付き、意欲と自信をもって生活することができる。
(気付き)

こんな単元のとらえ方で

《子どもの実態》生活科の学習がスタートして5ヶ月。自分の身近な「ひと・もの・こと」に興味をもって積極的に関わることができている。また、自分たちが体験したことを通して、気付いたことを絵や文で表現できるようになってきた。

入学して子どもたちは、各家庭では、お手伝いとしての仕事を入学当初から続けている子どもが多い。また、入学して時間割や家庭学習をすることや自分で起きることなど、自立面でも保護者の協力のもと意識をもって続けている。保護者も家庭内の仕事を手伝うよりも自分のことは自分でできるようになって欲しいと自立の成長を望む声が多い。

夏休みの課題として、家族の一員として意識をもたせるために「できる仕事」を決めさせ取り組ませた。食事の準備や風呂掃除に挑戦したり、規則正しい生活を送るように努力をしたりしてきた。子どもなりに頑張ってきたが、それは、頑張った自分を意識しただけで、自分が家族の一員として家族のためにできることをしようと考えたわけではない。

《教材の価値》本単元は内容(2)「家庭生活を支えている家族のことや自分でできることなどについて考え、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気をつけて生活することができるようにする」を軸にして、家庭生活の中の仕事に目を向けさせ、家族との触れ合いを中心に活動を展開したものである。子どもが、家族のこと、家族とともにしていること、家族にしてもらっていることなど自分の家庭生活を見つめ直し、自分自身のことや家庭における役割など自分でできることを進んで行うようになることを目指している。

家庭は、子どもたちにとって生活の場であり、自分を支えてくれるところである。しかし、子どもたちは、あまりに身近すぎて、家族の一人一人が家庭生活を支えていることや自分の役割について意識しないで生活をしていることが多い。

そこで、子どもたちが、家族とともにしていることや家族にしてもらっていることを振り返る中で、家族・家庭の温かさを実感し、家族一人一人の良さに気付かせたい。また、自分のことは自分でやり、さらに家族の中で自分はどんなことができるだろうと考え、それを1年生になり自分の役割ととらえ生活に生かす意欲をもたせることができる価値ある単元と考える。

こんな活動で

《であう過程》

上靴を洗う共通体験や家庭内での仕事と分担を調べさせることで、家庭の仕事、家の人の仕事の多さ、友だちはしているけど、自分はしていないことがあることに気付かせ、活動への意欲をもたせる。その中から、家族の一員としてできる仕事を見つけ、家族の思いと自分の思いを合わせて自分で取り組む仕事を決め実践をさせる。

《つくる過程》

家庭での実践が中心になるために、「おしごとか一ど」に活動の様子を記録させる。保護者のアドバイスや励ましの言葉と教師の支援を繰り返すことで、活動への実感をもたせ、意欲を継続させ、気付きを高めさせる。また、自分の役割を積極的に果たすことの大切さに気付かせたい。

自分たちの家庭での実践を見直す中間報告会や実践後の報告会を行うことで、友達同士で認め合う場の設定を行い、お互いの成長に気付かせたい。

《いかす過程》

家庭での実践の振り返りから、「家の人は毎日続けてくれている。」「疲れて帰ってきても仕事をしている。」「と家族を心配する内容や、家族からの手紙の「仕事が早く終わって、ゆっくりできる。」という内容を取り上げ、家族への手紙を書かせる。その手紙の渡し方について交流し、家族の団らんや家族で過ごす楽しみのために、自分でできることを計画し、実践することで子どもたちに充実感や自信をもたせる。

2. 指導計画（全13時間）

| 週 | 主な学習活動と内容 | 配時 | 自ら学びを進める子ども像 | 支援 |
|------|--|--|---|---|
| であらう | <p>1. じぶんのうわぐつをあらおう。 (1) 上靴を洗い、全体交流をする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">初めてだから、うまくできなかったよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">〇〇君はとても上手で洗い方もよく知っていたよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">〇〇さんから、教えてもらったよ。</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で洗っている友だちもいるんだね。 ・ぼくは、いつも自分で洗っているよ。 ・おうちの人と約束をしたんだ。 ・他にもお家の中は仕事があるのかなあ。 </div> <p>2. おうちのなかのしごとをしらべてはっぴょうしよう。 (1) 調べたことを発表する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">学校へ着ていく洋服を自分で決めています。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">食器運びをお兄ちゃんと一緒にしています。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">お風呂掃除をお父さんが、毎日しています。</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・お家の中には、たくさん仕事があるね。 ・お家の人がしている仕事が多いね。 ・自分はしてないけど、友だちはしている仕事があるよ。 </div> <p>3. じぶんがするしごとをかんがえよう。 (1) 家の中で自分ができる仕事を考える。 (2) 考えた仕事を模擬体験して、実践の仕事を決める。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">友だちがしていることは自分もできそうだなあ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">お兄ちゃんと一緒に皿を洗ったら早く終わって助かるかな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">お風呂掃除は、お兄ちゃんがしているの、ぼくも出来そうです。</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・風呂掃除をします。 ・お家的人是喜んでくれるかなあ。 ・〇〇ちゃんから教えてもらったから大丈夫です。 </div> <p style="text-align: center; border: 1px dashed black; padding: 5px;">各家庭で実践をする。</p> | <p>2</p> <p>1</p> <p>2</p> <p>①</p> <p>①</p> <p>本時</p> <p>〇組</p> | <p>○上靴を洗う体験を通して、家庭での仕事や自分の仕事について考えている。</p> <p>○家庭で調べたことを発表し、仕事の内容・量・役割について気付いている。</p> <p>○調べたことや友だちの発表で、できる仕事を考えている。</p> <p>○家庭の仕事を模擬体験することで、自分の生活と結びつけて仕事を決めている。</p> | <p>○活動中の対話の中から毎週している子どもの発言を取り上げる。</p> <p>○家庭へ事前をお願いをしておく。</p> <p>○子どもが一人で任されている仕事に着目させる。</p> <p>○家庭内には、たくさん仕事があり、分担があることを実感させる。</p> <p>○前時の学習のプリントを基に、考えさせ発表をさせる。</p> <p>○前時に出た仕事が体験できる場の設定を行う。</p> |
| つくる | <p>3. ほうこくかいをしよう。(中間報告会) (1) 報告会の準備をする。 (2) 報告会をする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">かかととかかかとを合わせて、靴を並べています。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">お兄ちゃんと一緒に皿洗いをして割らないようにしています。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">きゅっきゅと音がするまで、スポンジできれいにしています。</div> </div> | <p>2</p> <p>①</p> <p>①</p> <p>本時</p> <p>〇組</p> | <p>○友だちに分かりやすい方法で準備をしている。</p> <p>○自分が家で実践したことを多様な方法で表現している。</p> | <p>○どの方法が伝わりやすいか考えさせる。</p> <p>○報告が伝わりやすい場の設定やグルーピングを考え、交流をさせる。</p> |

| | | | | | | | |
|---------------------------|--|---------------------------|---|---|--------------|--|--|
| いかす | <ul style="list-style-type: none"> ・うまくいかないところを、友だちから教えてもらいました。 ・みんなおうちで頑張っているから、自分も頑張りたいです。 | | | | | | |
| | <p style="text-align: center;">各家庭で実践をする。</p> | | | | | | |
| | <p>4. まかせてあんしんほうこくかいをしよう</p> <p>(1) 報告会の準備をする。 (2) 報告会をする。</p> | 2 ① ① | <ul style="list-style-type: none"> ○どんな方法で報告をするか考えている。 ○実践したことを動作や絵、写真を使って友だちに分かりやすく話している。 | <ul style="list-style-type: none"> ○前回の中間報告会の発表を想起させる。 ○事前に保護者をお願いをして、写真やビデオの撮影をしてもらう。 ○発表内容を事前に把握し、個別に支援を行っておく。 | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; padding: 5px;">くつは、はきやすいように、並べると家族が喜ぶよ。</td> <td style="width: 33%; padding: 5px;">毎日頑張ったので、お兄ちゃんがいなくてもできるよ。</td> <td style="width: 33%; padding: 5px;">お家の人がお風呂が気持ちがいいといってくれました。</td> </tr> </table> <p>・おかあさんから、続けて欲しいといわれました。できるようになりました。 ・お家の人のために、他の事を考えて、楽しく過ごしたいです。</p> | くつは、はきやすいように、並べると家族が喜ぶよ。 | 毎日頑張ったので、お兄ちゃんがいなくてもできるよ。 | お家の人がお風呂が気持ちがいいといってくれました。 | | | |
| くつは、はきやすいように、並べると家族が喜ぶよ。 | 毎日頑張ったので、お兄ちゃんがいなくてもできるよ。 | お家の人がお風呂が気持ちがいいといってくれました。 | | | | | |
| | <p>5. にこにこだいさくせんをしよう。</p> <p>(1) にこにこ大作戦の内容を考える。 (2) にこにこ大作戦の準備をする。</p> | 3 ② ① | <ul style="list-style-type: none"> ○家族と楽しい時間を過ごすにはどうしたらいいかを考えている。 ○家庭で実践できるように友だちに見せたり、お互いにアドバイスをしあったりしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○今までのがんばりカードを振り返らせさせる。 ○場の設定、グルーピングを配慮し、教師と一緒に活動したり、友だち同士アドバイスできたりできるようにする。 | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; padding: 5px;">ぼくは、家族でゲーム大会をします。楽しかったです。</td> <td style="width: 33%; padding: 5px;">家族にわたしの好きな本の読み聞かせをしました。</td> <td style="width: 33%; padding: 5px;">家族で、朝散歩をして通学路のことを教えます。</td> </tr> </table> <p>・わくわくします。家族と楽しく過ごしたいです。 ・友だちにアドバイスをもらったので、練習をします。</p> | ぼくは、家族でゲーム大会をします。楽しかったです。 | 家族にわたしの好きな本の読み聞かせをしました。 | 家族で、朝散歩をして通学路のことを教えます。 | 本時 ○ 組 | | |
| ぼくは、家族でゲーム大会をします。楽しかったです。 | 家族にわたしの好きな本の読み聞かせをしました。 | 家族で、朝散歩をして通学路のことを教えます。 | | | | | |
| | <p style="text-align: center;">家庭で実践をする。</p> | | | | | | |
| | <p>6. これまでのかつどうをふりかえろう。</p> <p>(1) にこにこ大作戦の報告をする。 (2) これからの家庭生活を考える。</p> | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ○これまでの活動を振り返って、家族のいいところや自分の頑張ったことに気づき、これからの家庭生活について考えている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○プリントや頑張カードから学習を振り返らせ、自分の変容に気付かせる。 ○保護者のコメントに着目させる。 | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; padding: 5px;">ありがとうって言われてとても嬉しかった。</td> <td style="width: 33%; padding: 5px;">続けて頑張ってたよかったです。他にもできることをしたいです。</td> <td style="width: 33%; padding: 5px;">クラスのみんなが、たくさん仕事を頑張りました。</td> </tr> </table> <p>ぼくは、おかあさんがこしがいたいのので、おうちのお風呂そうじをつづけてがんばりました。きゅきゅとおとがするようにみがきました。おうちのひとが「きもちよかったです。」とよろこんでくれました。ほかのしごとみつけてがんばりたいです。</p> | ありがとうって言われてとても嬉しかった。 | 続けて頑張ってたよかったです。他にもできることをしたいです。 | クラスのみんなが、たくさん仕事を頑張りました。 | | | |
| ありがとうって言われてとても嬉しかった。 | 続けて頑張ってたよかったです。他にもできることをしたいです。 | クラスのみんなが、たくさん仕事を頑張りました。 | | | | | |

3. 本時 5 / 13 1年〇組教室

4. 本時目標

- これまでの学習を振り返り、模擬体験を通して、家庭で実践する仕事に対して、自分の理由をもって決定することができる。 (思考・表現)

5. 本時指導の考え方

目指す子ども像

ぼくは、おうちのしごとをしらべて、おふるそうじをしようとおもいました。きょう、おふるそうじのれんしゅうをしたときに、ちゃんからすみっこもきれいにするといいいよとおしえてもらいました。
ぴかぴかにしたいです。

本時仮説

子どもたちが家族の仕事に目を向け、仕事をしたいという思いをもてるようにするために、
①家庭で実践する仕事が模擬体験できる体験活動の場の設定
②模擬体験をしたことを表現する交流活動の場の設定
を行えば、家族のことを考え仕事に取り組むことができるであろう。

手立て1 家庭で実践する仕事が模擬体験できる体験活動の場の設定

事前に自分が実践する仕事の仕方を調べたり、家の人を観察したりさせ、模擬体験に見通しをもたせるようにする。また、調べたことで、友だちに教えたり、分からないところを聞いたりすることができ、家での実践に向けて意欲が向上すると考えられる。

子どもたちにとって実践する前に、模擬体験をすることは、

- ①家での実践にあたって、見通しをもつことができる。
- ②友だちと教え合ったり、解決したりすることで仕事に自信をもつことができる。
- ③家の人の気もちになって考えることができる。

このように、模擬体験をすることで、家での実践に見通しをもち、意欲的に実践ができると考える。

また、模擬体験中の子どもたちの発言や行動を

- ①めあてを確認し、体験に没頭している。
- ②友だちに教えたり、聞いたりしている。
- ③対話をすることで、家族への思いをもっている。

以上の3つの見取りの視点で見取っていくことで、交流活動の中で、意図的指名をしたり、発言をつなげさせたりすることで、家族のことを考えた理由につなげていきたい。

手立て2 模擬体験をしたことを表現する交流活動の場の設定

模擬体験後の交流活動を設定し、意思決定場を2回設ける

- ① 自分の仕事の模擬体験をして、それぞれが思ったことを発表させ、家庭で実践する仕事を再度考えさせる。
- ② 仕事を変えなかった理由や変えた理由を発表させる。最終的な仕事の決定をさせる。

①では、体験したことで、うまくできた所や難しかった所を発表させることで、仕事の技能面に目を向けさせ、仕事を選択させる。次に、②では、仕事を変更しなかった理由と変えた理由を問い返すことで、それぞれの思いや家族への思いに分けて引き出したい。このように、2つのステップで子どもたちに仕事について考えさせ、学習の流れや子どもたちの発言を板書で整理をすることで、前時に決めた仕事と模擬体験後とを比べさせ、最終的な仕事決定させていく。このことから、子どもたちがそれぞれの願いや思いをもって家庭での仕事をどのように実践していけばいいか見通しをもつことができる。と考える。

6. 本時展開

| 学習の活動と内容 | 支援 |
|--|--|
| <p>1. 本時の流れとめあてを知る。</p> <p>(1) 前時の「今日の学習を発表する」</p>  <p>お家の中にはたくさん仕事がありました。ぼくは、お母さんが腰が悪いから、玄関掃除をしたいです。</p> <p>(2) 今日の学習の流れを知る。</p> <p>(3) めあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>めあて いえでするしごとをやってみよう！</p> </div> <p>2. 自分が決めた仕事を体験する。</p> <p>(1) 仕事別グループで模擬体験をする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>僕は、風呂洗いをするよ。おうちで見てきたことをやってみよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>お家の人の様子を見てきとりにやってみよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>食器を洗うとお母さんが「助かるよ」といつも言うんだよ。</p> </div> </div>  <p>3. 体験したことを全体交流で発表をする。</p> <p>(1) 体験で思ったことを発表し、実践する仕事について考え仮決定をする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>お風呂のを洗う時は、中に入った方がいいと君が教えてくれたよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>上手にテーブルを拭くことができたよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>たくさんの食器を早く洗うことができたよ。</p> </div> </div>  <p>(2) 実践する仕事の理由を発表する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>お風呂掃除より、トイレ掃除が役に立つかなあ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>テーブル拭きは簡単だったよ。ゴミ捨てに変えよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>食器洗いはお母さんがた助から、変えないよ。</p> </div> </div>  <p>(3) 実践する仕事を決める。(最終決定)</p> <p>4. 今日の活動を振り返り「きょうのがくしゅうで」を書き、発表する。</p> | <p>支援</p> <p>○一人一人のめあてを確認させることで、活動の見直しをもたせる。</p> <p>○事前に子どもたちの決めた仕事を把握しておく。</p> <p>○今日の活動につながる前時の「今日の学習で」を読ませることで、本時の学習の内容につなげる。</p> <p>○体験活動：決めた仕事の見直しをもたせるために模擬体験を行う。</p> <p>活動しやすいように場の設定をする。子どもたちに気付かせたいところは、一緒に活動したり、手本を見せたりする。</p> <p>見取りの視点で、子どもの活動を見取る。</p> <p>○発問：対話をして、子どもたちの発言を価値付ける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <ul style="list-style-type: none"> ・スポンジの動かし方が上手だね。 ・なぜこの仕事？ ・おうちの人が忙しいからこの仕事を選んだんだね。 </div>  <p>○交流活動：体験活動した中で試行錯誤したことを出し合う交流活動を行う。</p> <p>模擬体験の感想を基に発表をさせ、技能面に目を向けさせる。</p> <p>○発問：家族へ目を向けさせるための発問を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <ul style="list-style-type: none"> ・○○君はなぜ、その仕事に決めたのかなあ？ ・○○さんはどうして、仕事を変えたのかなあ？ </div>  <p>○板書の工夫：仕事の決定や本時の学習を振り返り、「きょうのがくしゅうで」につなげる。</p> <p>仕事を実践する理由を観点別（変える・変えない）に分けて板書する。</p> <p>模擬体験前の自分の思いと比べさせ、家庭で実践する仕事を決定させる。</p> |

3. 本時 7 / 13 体育館

4. 本時目標

- 家庭で実践してきた仕事の報告会を通してお互いの頑張りを知り、自分の思いを大切に、これからも仕事に取り組む意欲をもつことができる。(関心・意欲・態度)

5. 本時指導の考え方

目指す子ども像

わたしは、きょうともだちに「おふろのあらいかたがじょうず。」といわれてうれしかったです。「つよくこするとぴかぴかになるよ。」とおしえてもらったから、かぞくがきもちよくおふろにはいれるように、がんばっておふろそうじをつづけたいです。

本時仮説

子どもたちが進んで「自分の仕事を頑張りたい。」という思いがもてるようにするために、
①子どもが同じ仕事のグループで報告をし合う体験・表現活動
②体験・表現活動を振り返り、全体で話し合う交流活動
を行えば、自分の仕事に自信をもって続けていくことができるであろう。

手立て1 子どもが実践してきた仕事を中間報告し合う体験・表現活動の場の設定

発表やアドバイスがしやすいように構成した同質の少人数グループで、自分が今まで頑張ってきた仕事を中間報告することは、

- ①家での実践を友だちに見てもらい、「よかったこと」を伝え合うことで自信と喜びをもって実践をすることができる。
- ②お互いに「こうしたらいいよ。」とアドバイスをし合うことで、仕事を進める際に困っていることを解決できる。
というよさがあり、これからも仕事を進める意欲につながると考えられる。

手立て2 体験・表現活動を振り返り、クラス全体で認め合う交流活動の場の設定

同じグループで報告をして交流したことや考えた事を全体交流で発表することは、



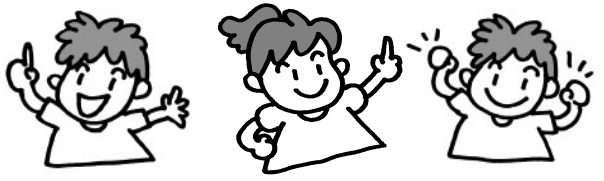
- (1) 報告してよかったことを発表することで、他のグループも皆それぞれが一生懸命に仕事をしている事に気付き、問題を解決し、お互いに認め合うことができる。
- (2) 「これからも同じ仕事を続けますか。」と発問をし、理由も発表させることで、子どもの仕事をする思いを大切に、進んで仕事に取り組む意欲をもつことができる。
- (3) 補助簿に、①友だちのいいところを見つけた ②アドバイスをもらった ③家族への思いを述べたかという観点を決めて子どもの発言・行動を見取り、指名をすることで、全体交流を活発にすることができる。
- (4) 発問に対し、子どもたちの発言を「つづける」「かえる」「ふやす」に分けて板書に整理することで、学習を振り返る際、仕事を進める理由に気付き、「きょうのがくしゅうで」を書きやすくする、と考える。

手立て3 指導方法工夫改善教員との連携

担任と指導方法工夫改善教員で授業を展開することは、以下のような学習活動効果があると考えられる。

- ①全体を T1 が見てまわり、配慮を要する仕事を報告するグループには T2 が付き、用具の使い方等に気を配ることで、安全に報告会を進めることができる。
- ②それぞれが見取りの視点を持つことで、多くの子どもたちを細やかに見ることができる。
- ③全体交流を活発にさせ、子どもの発言をできるだけ多く紹介するために、原則として T1 話し合いを進め、T2 が整理をして板書をする。また T2 も発問や、担任が気付かなかった発言への価値付けの紹介を行うことで、子どもの考えをより深めることができる。

6. 本時展開

| 学習の活動と内容 | 支援 |
|--|---|
| <p>1. 本時の流れとめあてを知る。</p> <p>(1) 前時の「きょうのがくしゅうで」を発表する。</p> <div data-bbox="151 360 598 517" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>今まで頑張ってきて、お風呂の洗い方が上手になったから、みんなに見てもらいたいです。</p> </div>  <p>(2) 今日の学習の流れを知る。</p> <p>(3) 本時のめあてを知る。</p> <div data-bbox="151 600 746 745" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて 「わたしに〇〇〇はまかせて！だいさくせん」のほうこくをしよう。</p> </div> | <p>○前時の「きょうのがくしゅうで」を読ませることで、本時の活動に意欲をもって取り組ませる。</p> <p>○各グループでめあてを確認させることで、活動の見通しをもたせる。</p> <p>○体験・表現活動：家で実践した仕事を報告する。(T1)</p> <p>活動しやすいように場の設定をする。水を使用するところや、包丁を使用するなど配慮を要する仕事を報告するグループには教諭が付く。(T2)</p> |
| <p>2. グループで自分が実践した仕事を発表する。</p> <p>(1) 家でしている仕事の報告をする。</p> <div data-bbox="151 853 359 1048" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>お風呂の中を掃除する時は中に入れて座って洗います。</p> </div> <div data-bbox="367 853 566 1048" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>べたべたしたものは最後に洗います。</p> </div> <div data-bbox="574 853 758 1048" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>かかととかかとを合わせて並べるときれいだよ。</p> </div>  <p>(2) うまくできたところを教え合い、分からないことを解決する。</p> <p>3. 各グループで考えたことを全体交流で発表する。</p> <div data-bbox="151 1417 343 1720" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>強くこすると汚れがよく落ちるということが分かったから、お家でもやってみます。</p> </div> <div data-bbox="359 1417 566 1720" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>食器洗いは難しかったから、食器運びの仕事をしたいです。</p> </div> <div data-bbox="574 1417 758 1720" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>靴並べは簡単だったから、玄関掃除も一緒にしてみたいです。</p> </div>  | <p>○発問：対話をして、子どもたちの発言を価値付ける。</p> <div data-bbox="821 896 1428 1064" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・力を入れてこすっているね。 ・自分のやり方と友だちのやり方で違うところはあった？</p> </div> <p>(T1)</p> <div data-bbox="829 1108 1300 1243" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・その仕事で気をつけていることはどんなことですか？</p> </div> <p>(T2)</p> <p>○交流活動：グループでの体験・表現活動を振り返り、全体で交流活動を行う。</p> <p>他のグループも皆それぞれが一生懸命に仕事してきた事に気づき、これからも自分の思いをもって仕事に取り組む姿につなげる。(T1)</p> |
| <p>4. 今日の活動を振り返り、「きょうのがくしゅうで」を書いて発表する。</p> | <p>○発問：お互いを認め合うために発問を行う。</p> <div data-bbox="805 1534 1444 1691" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・報告してよかったことは何かな？ ・お友達のすごいな・えらいなと思ったことはある？</p> </div> <p>(T1)</p> <p>○発問：自分の思いをもって仕事を進めるために発問を行う。</p> <div data-bbox="805 1792 1284 1960" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・これからも同じ仕事を続けますか？ ・先生は続けて欲しいと思っていたけど、なぜ他の仕事をしたいのかな？わけを教えてください。</p> </div> <p>(T2)</p> <p>○補助簿をもとに、家族への思いをもった児童に意図的指名をする。</p> |

4. 本時目標

- 「にこにこ大作戦」で取り組む活動を事前に試みることで、足りない点や改善点に気付き、家庭で行う本番に生かすための手立てを見つけることができる。(気付き)

5. 本時指導の考え方

目指す子ども像

わたしは、にこにこ大きくせんで本のよみきかせをします。きょうともだちから、もっと大きなこえでよんだほうがつたわるよといわれました。しっかりよむれんしゅうをして、おうちの人によろこんでもらいたいです。

本時仮説

- 子どもたちが家族のために考えたことがうまくできるために、
- ①計画した活動を事前に試し、アドバイスをもらうグループ交流の場の設定
 - ②体験活動を通して見つけた改善点を発表する全体交流の場の設定
- を行えば、当日までに自分が何をしておくべきかを分けることができるであろう。

手立て1 計画した活動を事前に試し、アドバイスをもらうグループ交流の場の設定

これまでに家族を楽しませるために準備をしてきている。それを事前にやってみて、見ている友だちからアドバイスをもらう活動には、以下のようなよさがあると考えます。

- ①自分の計画した活動のよさを知り、自信をもつことができる。
- ②本番での動きに見通しをもち、自信をもって活動することができる。
- ③足りない点や改善点に気付き、本番までにさらに何が必要かについて考えることができる。

足りない点に子どもたちが気付くには、アドバイスをする友だちの存在が大きい。グループ交流のメンバーが、自分のよさを生かしたアドバイスができるようなメンバー構成に配慮することが大切である。今回は活動内容をそろえたグループ化を行わず、本番の活動内容がそれぞれ異なっても、自分のよさが友だちへのアドバイスに発揮できるような子ども同士を組ませる。そうすることで、本番までにしておくべき準備がより具体的になると考える。また、大人数での交流はまだ難しいので、グループは2～3人とする。この人数は、一人あたりの活動を見せる時間を十分に確保する点でも有効であると考えます。また、アドバイスは主によかった点とよくなる点の2つとする。よかったことを教えてもらうことは、本番の成功への自信につながり、改善すべきところを教えてもらうことは、改善への意欲向上につながると考える。


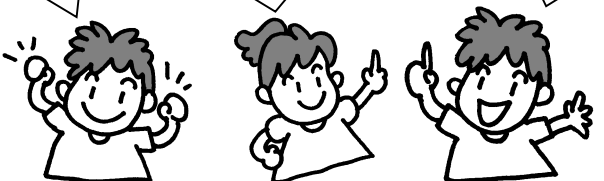



手立て2 体験活動を通して得られた自分の気付きを表現する全体交流の場の設定

体験活動で気付いたことを全体交流の場で発表させる。その時に、これから本番までにしなければならないことを必ず入れるようにする。そのことで、グループ交流では出なかったが、自分にもあてはまる改善点を見つけることができると考える。この全体交流を効果的に進めるために、

- ①体験活動で的確に見取ったことを生かした意図的指名
- ②取り組む内容別に、今後の取り組みを見通せる板書
- ③家族のために行うことを再確認するための発問

の3つの手立てを取り、交流活動を進めたい。①については、グループ交流中の子どもを体験活動の工夫、アドバイスの内容、家族への思いの3つの視点から見取り、全体交流で意図的指名をし、保護者への思いにつなげる一助としたい。②は、子どもたちの発表を板書に整理する際、取り組む活動別にアドバイスを分けて整理していき、自分が何を準備して本番に臨めばいいのかをはっきりさせる手立てとする。この板書で、自分が直接アドバイスをされなかったことも自分のこととして取り入れることが期待できる。③については、全体交流の終盤では、「これだけの準備をするのはなぜだろう。」という発問を行い、改めて家族が喜んでくれる姿を想像しながら改善点を意識させたい。この全体交流の話し合いの流れ・板書・家族を喜ばせたいという気持ちの確認が、「きょうのがくしゅうで」を書く手立てになると考える。

6. 本時展開

| 学習の活動と内容 | 支援 |
|--|--|
| <p>1. 本時の流れとめあてを知る。</p> <p>(1) 前時の「きょうのがくしゅうで」を発表する。</p>  <p>ぼくは、にこにこ大作戦の作戦その1で手紙を書きました。作戦その2のお楽しみを読み聞かせにしました。上手に読んで喜んでもらいたいです。</p> <p>(2) 今日の学習の流れを知る。</p> <p>(3) 本時のめあてを知る。</p> | <p>○一人一人のめあてを確認することで、活動の見通しをもたせる。</p> <p>○事前に子どもたちの決めた活動を把握しておく。</p> <p>○今日の活動につながる前時の「今日の学習で」を読ませることで、本時の学習の内容につなげる。</p> |
| <p>めあて</p> <p>もっとかぞくによるこんでもらえる「にこにこだいさくせん」にしよう。</p> | |
| <p>2. グループに分かれ、準備した活動を見せる。</p> <p>(1) 前の時間にもらった家族からの手紙をもう一度読み返す。</p> <p>(2) 考えた活動を友だちに見せる。</p> <p>(3) グループの友だちからよかったところと もっとよくなるところを聞く。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="151 1064 343 1265"> <p>ぼくの大好きな本の読み聞かせをしたら、もっと声大きい方がいいと言われました。</p> </div> <div data-bbox="359 1064 550 1265"> <p>トランプ大会は盛り上がりそうだけど、最後に勝った人に賞品を渡すのもっと盛り上がりそうだな。</p> </div> <div data-bbox="566 1064 758 1265"> <p>朝の散歩の時に、通学路のおもしろいものを紹介したらいいと言われたよ。</p> </div> </div>  | <p>○家族の喜んでいいる思いを想起することで、体験活動への意欲につなげる。</p> <p>○体験活動：お互いの活動を評価し合う活動を行う。 具体的なアドバイスを得るために、グループの友だちに対して本番通りに行わせる。 よかったところ、もっとよくなるところを中心にアドバイスするよう伝える。 見取りの視点をもとに、子どもを見取る。</p> <p>○発問：対話をして、子どもたちの発言を価値付けアドバイスをする視点をはっきりさせる。</p>  <p>○○さんのプレゼントを作るアイデアはとてもいいね。他の人にも使えないかな。</p> |
| <p>3. グループ交流で気付いたことを、全体交流で発表する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="151 1534 343 1803"> <p>ちゃんも読み聞かせをするみたいだから、次の時間は一緒に練習したいな。くんは音読が上手だから、聞いてもらおう。</p> </div> <div data-bbox="359 1534 550 1803"> <p>最後の賞品を渡すところで、作戦その1のお手紙と一緒に渡そう。実はありがとうの会だよって言ったらびっくりするかな。</p> </div> <div data-bbox="566 1534 758 1803"> <p>一学期の通学路探検で見つけたミントがある場所を教えてあげよう。</p> </div> </div>  | <p>○交流活動：体験活動で得られた改善点や家族への思いを引き出す。 体験活動の様子の記録をもとに意図的指名を行う。</p> <p>○発問：家族のために行うという本来の目的を再確認できる発問を行う。</p>  <p>みんながこんなに準備するのはなぜでしょう。</p> |
| <p>4. 今日の活動を振り返り、「きょうのがくしゅうで」を書き、発表する。</p> | <p>○板書の工夫：本時の学習を振り返り、「きょうのがくしゅうで」につなげる。 子どもの発表を取り組む内容別に分け、整理して書くことで、自分が何をこれから準備するべきかをとらえやすくする。</p> |

7. 板書計画

(5/13)

すごいミッケ!ぼく・わたしのかぞく

めあて いえでするしごとをしてみよう

| | | | | | |
|-------------------|--------------------|-------------------|--------------------|------------------|-------------------|
| おふろそうじ | げんかんそう | しょっきはこび | しんぶんとり | りょうり | せんたくもの |
| なかがあらいにくかったです。 | くんはほうきがじょうずでした。 | たのしかったです。うちでもがんばる | かんたんだったよ。おもしろそうだよ。 | ほうちょうでできるのはむずかしい | 大きいものがたいへんでした。 |
| なかにはいってあらうといいよ。 | おぼんをつかうとたくさんはこべるよ。 | はやく、うちでやってみよう。 | ねこのてにしたら、いいよ。 | さんからじょうずというわれたよ。 | |
| おうちのひとがたずかるからするよ。 | まえからしているから、つづけるよ。 | したことないからやってみよう。 | おうちのひとがよるこんでくれるから。 | おかあさんがいそがしそうだから。 | たのしそうだから、してみたいなあ。 |

れんしゅうをしておうちでがんばります。

ともだちにわからなところをおしえてもらう。

〈きょうのせいがかつかがくしゅう〉
 1めあてをする。
 2じぶんのめあてをみる
 3しごとをする。
 4みんなではなしあう。
 5「きょうのがくしゅうで」をかく。

がんばります!

(7/13)

すごいぞ ミッケ! ぼく・わたしのかぞく

めあて 「わたしに〇〇はまかせて!だいさくせん」のほうこくをしよう。

| | | | |
|------------------|------------------------------|--------------------------|-----|
| おふろそうじ | つづける | かえる | ふやす |
| あどばいすをもらったから。 | まいにちはできないから、しょっきのかたづけをしたい。 | おみずをいれるのもする。 | |
| きれいになるのがたのしいから。 | きつかったから、くつならべにしたい。 | しょっきふきもしたい。 | |
| ほめてもらってうれしかったから。 | うまくできなかったから、おふろそうじにかえる。 | りょうりをはこぶのもしたい。 | |
| おかあさんがたずかるから。 | たいへんだったから。せんたくもののかたづけにかえる。 | ちがうしごともしてみたいから、くつならべもする。 | |
| もっとじょうずになりたいから。 | ほかのしごとがおもしろそうだから、りょうりをしてみたい。 | かんたんだったから、げんかんそうじもする。 | |

〈きょうのせいがかつかがくしゅう〉
 1. めあてを知る。
 2. ぐるうぶではっぴょうしてはなしあう。
 3. ぜんいんではなしあい。
 4. きょうのがくしゅうでをかく。

(11/13)

すごいぞミッケ!ぼく・わたしのかぞく

めあて もっとかぞくによろこんでもらえる 「にこにこだいさくせん」にしよう。

よみきかせ げーむたいかい さんぽ かたもみ おんがくかい

もっと大きなこえ しょうひんがあるといい つうがくろのおもしろいところ だまってもまずに、ありがとうをいいながら みんなでうたえるものがある

すらすらとよむ

〈きょうのせいがかつかがくしゅう〉
 1めあてをする。
 2ともだちにみてもらって、もっとよくなることをきく。
 3みんなにはっぴょうする。
 4「きょうのがくしゅうで」をかく。

《きょうのがくしゅうで》
 ① にこにこだいさくせんまでにしておくこと
 ② ほんばんにむけてのきもち